

トラス小屋組の寺：完成！

設計・監理：合同会社あまね設計

お寺の大規模改修が
終わりました！



台東区

7月上旬の施餓鬼供養を終え、二期工事の本堂改修がスタートしました。



まずは床を解体し基礎工事を行いました。今年の夏は雨も多かったのですが、とても暑く、職人さんたちは汗びっしょり。また、作業スペースの問題から重機を使わず全て手作業で根切り（基礎を作るために地面を掘り下げること）するしかなく、基礎工事は大変でした。また、本堂の下に新しい基礎を作るため、建物が下がらないようにサポートをしながら、作り方を工夫して施工しました。

基礎工事の後は床工事です。築100年以上経っていて建物全体が傾いていたため、床を水平に直したところ、もともとの

床レベルでは隠れていた部分が見えてきてしまいました。そこで本堂中央の丸柱の下部に出てきてしまった傷を隠すために幅木をつけました。設計者さんのデザインで八角形にして歩行の際なるべく邪魔にならないよう、細かな工夫をしました。改修では、このように修正することで新たに問題が出てくるのが良くあります。しかしそれを活かしていくことも改修の醍醐味だと思います。



また、今回床は福島県産の栗材の朝鮮張り。朝鮮張りとは長材を縦に張り、その間に短材を張っていく張り方です。朝鮮半島の古い民家・寺院に多いことが由来ということもあり、出来上がるととても上品で、本堂に合った特徴的な床になりました。仕上げ工事は外壁を土佐漆喰、内壁は漆喰で塗り替えました。建具は新しく格子戸になり、以前とはまた変わったデザインになり、格式が上がったように思います。

一期・二期含め半年以上の工事となりましたが、ひとつずつ丁寧な仕事ができたと感じます。本堂も新しく綺麗に生まれ変わり、何十年先もこの姿のお寺があり続けること、それに携わることができたことを考えると感慨深いです。お施主様をはじめ、皆さまありがとうございました。



古民家風リビングの家

春日部市に本拠地を置く不動産会社リバティーエステートさんからのご依頼で、所有している空家物件のリノベーション工事をさせていただきました。

一階はキッチン以外が全て和室という珍しい構成に、当初は一見何の変哲もない家のように見えたが、すぐに和風テイストを残したリノベーションにすることを決めました。柱型や天井の装飾を活かしながら着色し、床をフローリングに、壁を漆喰風のクロスに張り替え、全体を整えました。窓の障子も全て再利用しています。これまで何度も申し上げてきた通り、木造建築の最も優れた点は手直しがしやすいことです。見違えるように生まれ変わった様子は、リバティーエステートさんにお問合せください。



越谷市

大泉学園の家

練馬区



10年前に工事のお手伝いをさせていただいた住宅の修繕工事をさせていただきました。主に外部の塗装工事と外壁のメンテナンス工事です。経年変化で外部が痛む大きな原因は紫外線と水です。この避けられない二つの劣化要素とどのように付き合うかがポイントですが、一番は軒や庇などの屋根の存在が大きいと感じます。人が夏には帽子をかぶり、日傘をさして外に出る感覚と似ています。直接当たらないのが一番ですが、当たりにくくする事が大切です。また、劣化に強い素材を選ぶ事も大切です。この建物では、外壁の一部に漆喰が採用されています。塗装面や木部に比べると汚れはあるものの、劣化が少ない事が分かりました。建設当初に選ぶ仕上げ材は後々のメンテナンス費用にも関わる重要なポイントになります。

店舗のある家

越谷市



店舗面積を増やし、住居部分に防音室を検討している物件です。防音室の基本的な知識を身につけるために勉強会へ参加し、設備の体験もしました。このような機会がないとなかなか知ることができない分野でとても興味深かったです。



大きな改修工事に
なりそうです！



はかり屋：遊佐農場

越谷市



はかり屋さんで新たに店を構える八百屋さんのウッドデッキと屋根の設計が始まっています。既存建物の前にあるスペースに野菜を売るスペースを計画中です。敷地条件に沿って計画の図面を書いています。木造の組み方を考える作業は幼い頃レゴブロックを組んで遊んでいた時のおもしろさに近いものがあり、楽しく図面を書いています。なかなかこの楽しさ理解してもらえませんが、これから始まる工事が楽しみです！！

越谷暮らし LAB

越谷暮らし LAB 801



越谷市内にて工事予定の木造3階建の商業施設の準備を進めています。カフェ803、はかり屋に続く、日光街道沿いに新たにできる店舗です。来年春の工事に向けて進めています。

越谷暮らし LAB 802



越谷暮らし LAB801 と隣接する既存倉庫を改修して、ものづくりの実践の場として使うため工事準備中です。801 に先んじて工事をする予定です。

コッペパン shocomo

日光街道の空き店舗で新しくコッペパン屋さんをオープンする計画が進行中です。建物の現状を知るため、実測調査を行いました。調査後、店に必要な機材などの配置を書き込んだ計画図面を元に打ち合わせを重ねています。越谷のイベントにも多数出店されているお店です。まちの賑わいが増えるよう、建築面でできることを考えます。



越谷市

昭和の家 縁側カフェ

足立区にある和風住宅の雨戸を製作したいのご依頼で、初見の調査に行ってきました。平屋建ての素晴らしい和風住宅で、お施主様がもとも住まれていた住宅を現在はカフェ・撮影スタジオ・レンタルスペースとして活用しています。雨戸廻りだけでなく建物自体に夢中になってしまいました。



足立区